

木育 MOKUIKU かわら版

知ろう、使おう、広げよう、みやぎの木



木に触れて、
木と遊び、
木を学ぶ

Vol.
12

Contents

Page1	宮崎工業高校インテリア科木育授業
Page2	幼児と児童との「木育活動」、保育参観
Page3	木育教室、木製遊具
Page4	木育活動に取り組んでいる保育園・幼稚園の紹介

高校生を対象とした木育授業の実施

宮崎工業高校都市部における 木材利用事例見学ツアー

日 時：令和2年1月8日(水)

視察先：株式会社 内田洋行（東京都）

武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス（東京都）

参加者：インテリア科2年生35名、教員2名、関係者3名



宮崎県立宮崎工業高校インテリア科2年生の修学旅行において、県産材を活用した施設の見学やデザイナーとの意見交換などを通じて、資源循環の取組について理解を深めるため、会社等の訪問を行いました。

➤ (株)内田洋行（パワープレイス(株)）

内田洋行は ICT システムの構築・機器販売。教育機器の製造・販売、教育施設への空間デザイン及び家具販売、オフィス関連家具の開発・製造・デザイン・施工などを行う会社です。



施設見学



未来の授業体験

生徒たちは、内田洋行が提供する未来の授業を体験したり、施設の見学を行いました。また、パワープレイスのデザイナーである奥さんから、「デザイナーを目指したきっかけ」など話をさせていただく中で、生徒たちに「好きなことはやり続けて欲しい」というメッセージが送られました。

➤ 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス

市ヶ谷キャンパスは2019年4月に開設。造形構想学部クリエイティブイノベーション学科の専門課程（3・4年次）と大学院造形構想研究科造形構想選考クリエイティブリーダーシップコースの拠点となっています。



若杉 浩一氏

1959年生まれ。熊本県天草郡出身。1984年株式会社内田洋行に入社し、商品企画やオフィス家具の計画、デザイン、システム設計に従事。2013年に社内デザイン会社パワープレイス(株)にて、ITとデザインとコンテンツを制作するデザイン集団「リレーションデザインセンター」を設立。また、地域と社会、企業との格差や矛盾に着目し2002年日本全国スギダラケ倶楽部を発足。

代表的な事例は「日向市駅周辺再開発プロジェクト」「宮崎空港木質化プロジェクト」「東京おもちゃ美術館あかちゃん木育広場」「良品計画本社デザイン」等多数。現在、武蔵野美術大学 造形構想学部クリエイティブイノベーション学科教授。

若杉教授の講話

「大学で造形を教えているが、デザインやアートが社会にとってどういうふうに関与していくか？どのようなデザインが世の中に必要なのか？と考えながらデザインの価値を生み出していこうということを始めている。

（自分が会社で働いていた時）デザインで何が出来るのかということを考えなければいけないと思った。地域の材料をなんとか今の社会の中でちゃんと使うことで地域社会を支えるためにもう一つ仕事をしなければならぬのではと思って出過ぎた活動を始めた。地域へ出かけて限界集落まで行き、自腹で0円デザイン活動を始めた。まちづくりなどにも参加し、地域と一緒にやりながら地域と盛り上がっていくということで経済を変えられるということに気付いた。これらの活動は儲からないが面白い。18年間会社の仕事ではないデザイン活動をやってきて、その様々な経験を大学で教えることになった。人生どうなるか分からない。皆さんもインテリアをやるのであれば、ぜひ宮崎の材料を使って宮崎らしい空間を作ってほしい。そうすれば、宮崎のモノが売れて、宮崎のモノが広がって宮崎が豊かになる。そういう役割を皆さんは持っている。余計なことでもやってみてほしい。

皆さんもモヤモヤがあるはず。親のこと、地域のこと、兄弟のこと、学校のこと、そういうことを蓋して無かったことにするのではなくて、真ん中のモヤモヤこそ、君たちとか地域の未来のことであるので考えて欲しい。」



幼児と児童との「木育活動」

小学生交流

～ネイチャーアクションの森へ探検に行こう～

日 時：令和2年1月11日(土) 9:30～15:30

場 所：ボーイスカウト宮崎連盟野外活動センター

参加者：めぐみ保育園年長児 16名、児童 40名、引率 5名
スタッフ 4名、山師 2名、視察研修参加者 12名



めぐみ保育園では平成24年から年長児を対象に木育活動を始めました。今回は卒園し小学生になった子どもたちにも声をかけ、今までの木育活動を振り返る交流会を開催しました。当日は、西白杵の山師の方々に山の大切さや山のお仕事についてのお話、間伐の実演も行って頂きました。さらに、みんなでピザを作って食べたり、一緒に森の散策をしました。こうして一日中楽しく森の中で過ごし、自然に触れることの大切さを思い出してもらい、とても有意義な交流会となりました。



上段：ピザは生地から作りました！おいしいピザが出来ました(^ ^)

下段：本物のスギの苗を見せてもらったり、木についての話を聞きました。みんな、真剣な顔です。

まき割り体験ができる遊具。姿勢が様になっています！

葉っぱでフラッグを作りました。上段：みんなで森を散策しました：下段

● 参加した卒園児の感想 ● <一部抜粋、漢字に変換して掲載>

- ・日頃一緒に遊べない友達と会って自然にふれてピザ作りをしたり、山を探検し、木を伐っているところなどが見れて楽しかったです。一番楽しかった活動は、ピザ作りで、具材を切ったり、トッピングをして焼いたことです。やっぱりかまどで焼いたピザはおいしさが違うと感じ楽しい活動でした。
- ・今までを振り返ってみて野外活動で一番楽しかった活動は家づくりです。家づくりでは木を組み立てたり、葉っぱをのせたりして楽しかったです。
- ・自分が先生だったら、自然の中で一日を過ごして自然の大切さや怖さなどどう生活するのかを学んで将来に生かしたり、いざとなった時に生活できるような経験をさせてあげたいです。

四季の森こども園 保育参観

日 時：令和2年1月18日(土)

場 所：四季の森こども園(日南市)

参加者：年少、年中、年長児

保育参観で木育教室が開催されました。室内には、「遊んで木育コーナー」があり、「オビッタ」大型積み木「木球プール」「メリーゴーランド」の4つのコーナーが設けられ、子どもたちがはしゃぎまわり、あちこちで楽しそうな笑い声が響きました。また、園庭には、「作って木育コーナー」があり、「ペン立て」「バードコール」「年輪ストラップ」そしてかなづちで自由に作品をつくる「かなづちトントン」の4つのコーナーが設けられ、木のおい、木目の美しさなど素材を感じながら作品を仕上げていました。園では環境を守ること、木の文化を伝えること、暮らしに木を取り入れること、子どもの心を豊かにすることを「木育」の目標として、こども園職員がそれぞれ意識しながら取り組んでいます。



ペン立ても出来ました♪

かなづちトントンコーナーで作られた車！

年輪ストラップ

それぞれのコーナーで「木」に触れ、「木」を感じて、親子で楽しく過ごした1日でした大型積み木コーナーでは、全身を使って遊ぶ子どもたち。工作コーナーで作った作品は、とても個性的に仕上がっていました(^ ^)



木に触れて、木と遊び、木を学ぶ

生目幼稚園 木育教室

日 時：令和2年2月17日(月) 9:30～11:00

場 所：生目幼稚園ホール

参加者：生目幼稚園年長児



この春卒園する園児を対象に、同じ幼稚園に通った仲間とのつながり、ふるさと宮崎の木とのつながりを感じてもらいながら、小学校でも頑張れるよう、お守りを作りました。園児は最後まであきらめず一生懸命磨くのに夢中になっていました(^^)

木花こども園 木製遊具

令和2年3月、高台に移転したばかりの新しい園舎に、大きな木製の遊具が作られました。こちらの園は、昭和20年代に地域の人みんなで育てた山を活用して設立された子ども園です。今回、そうした森との深く長い縁故から、子どもたちに、山や森を身近に感じてもらい、木に囲まれながら楽しく遊んでもらおうと、宮崎県森林組合連合会の協力のもと高床式の建屋と、木橋、そして木製デッキとで構成される遊具が完成しました。

できあがった木製遊具にはさまざまな工夫がされています。なかでもいちばん思いが込められているのが、地元の山々の山並みを模した木橋パネルです。園舎から山を見上げると、ちょうどこのパネルが本物の山並みと重なるようにできています。

このように園と地域社会、そして森とは切っても切れない深い絆で結ばれています。今後は今回設置した木製遊具を使って、目一杯遊んでもらうとともに、園児たちに木の話、森の話、地域の話をし、森との絆を伝えていく予定です。また、春には、園児や保護者、地域の人みんなで一緒にスギの木を山に植える予定です。



1番の目玉！木橋パネル。地元の山並みのかたちをしています。



丸太がまるまる使われている遊具も大人気！



木製デッキでは、子どもたちも裸足で遊びまわっています♪



「森林(もり)のイクボス木づかい宣言」支援事業

木育活動に取り組んでいる保育園・幼稚園の一部をご紹介します

本会員が木育活動を継続的に行うために必要な県産材を活用したおもちゃの導入や木育スペースの整備などに要する経費を補助しています。これまでに補助を受けた施設の活動をご紹介します。

延岡市

社会福祉法人 方財福祉会
幼保連携型認定こども園
ほうざい保育園



机と椅子を並べておやつ時間。心地よい木の香りも漂い癒されます。横にある木製のカバンの収納棚も新しくなりました。その裏側は木のホワイトボードになっています。子どもが自由にお絵かきを楽しむことができます。

西都市

社会福祉法人
ひかり会
光照こども園



ボルダリング、滑り台、積み木、パズルなど木のおもちゃがたくさんあって、みんなで楽しく遊んでいます。いろんな種類のおもちゃがあるので、遊び方も工夫しだいで、子どもたちの想像力も膨らみます。

国富町

社会福祉法人
太田原福祉会
太田原にじ色こども園



園庭にも園内にも木製遊具がたくさんあります。この日は園内の木育スペースでたくさん大きな木の積み木を使って遊んでいました。積み木で囲んでお風呂をつくったり、キッチンになったり、工夫次第でいろんな遊びができます。

都城市

社会福祉法人
エンゼル会
上長飯認定こども園



園庭にある「大工さんになろう」コーナー。作業台があって、のこぎり、ハンマー、クランプなどの工具や板、釘、ボンド、アクリル絵の具などの材料を自由に使うことができ、園児は自分の選んだ工具、材料を使って思い思いの「ものづくり」を楽しむことができます。

木育ネットワーク部会とは

豊かな森林を次世代に引き継いでいくには、県民一人ひとりが、木材の良さや利用することの意義について理解と認識を深め、県民全体で県産材の地産地消に取り組むことが重要であることから、みやざき木づかい県民会議を平成25年2月に設置し、木づかい運動を進めてきました。

木づかい運動を進めるうえでは、子どもたちを中心に木に触れ親しむ機会や、森林、林業、木材、資源循環について分かりやすく伝える機会を創出する木育活動を進めることが非常に大切であることから、木育に積極的に取り組む企業・団体・行政などの参画による木育ネットワーク部会を設置しました。

みやざき木づかい県民会議 木育ネットワーク部会 事務局

宮崎県森林林業協会・宮崎県山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室

〒880-0802 宮崎市別府町3番1号 宮崎日赤会館2F TEL: 0985 (27) 7682 / FAX: 0985 (25) 2398

※木育かわら版の発行には「宮崎県森林環境税」が活用されています。

